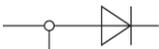
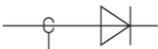


No	頁	位置表示	修正すべき内容	新内容
1	1	17行	磁気素子とデバイス	磁気素子とスイッチングデバイス
2	9	表 1.4	UPS (Uninterrupted Power System)	UPS (Uninterruptible Power Supply)
3	15	問題 1.4	…注意せよ.	…注意せよ. 本問は計算ステップの取り方を検討する問題である.).
4	30	下3行	抵抗率	抵抗
5	40	下3行	電源の電源の電圧	電源の電圧
6	46	1行	スイッチのオンオフ	他のスイッチのオンオフ
7	47	問題 2.3	効果もたらせられる	効果もたらせられるか
8	53	表 3.1	(昇圧チョッパ) $E_2/E_1 = (T_{on} + T_{off})/T_{on}$	$E_2/E_1 = (T_{on} + T_{off})/T_{off}$
9	60	式(3.14)	$\dots = \frac{1}{2} \frac{(E_1 T_{on})^2}{L} \frac{E_1}{E_2 - E_1} = E_2 I_2 T$	$\dots = \frac{1}{2} \frac{(E_1 T_{on})^2}{L} \frac{E_2}{E_2 - E_1} = E_2 I_2 T$
10	62	図 3.9	(電圧センサ記号) 	
11	83	下9行	平滑リアクトルを挿入しないのが	磁気素子の挿入なしに負荷自身のリアクトル成分を利用するのが
12	83	下3行	交流に変換	正弦波交流に変換
13	84	図 4.2	(図中, 正相変調波の表示が上, 負相変調波の表示が下である.)	(正負相変調波の表示を上下入れ替える)
14	84	下2行	変調波 (周波数)	変調波 (modulation wave, 周波数)
15	85	図 4.3 c	(基本波部位の補助目盛線が余分)	(当該目盛線削除)
16	87	11行	VVVV の機能	このような VVVV の機能
17	86	下1行	図 4.2のように, 180 度位相の	図 4.2のように, 180 度位相差の
18	93	9行	電動機における場合のように物理的空間	電動機における場合のように, 一定の条件を満たせば, 物理的空間
19	93	下10行	瞬時空間ベクトル	瞬時値空間ベクトル
20	100	例題 4.5	「例題 4.5」 (例題番号の重複)	「例題 4.5A」
21	101	下8行	直流電圧となって	直流電圧源となって
22	102	下5行	定常解のほうは時間関数 t を含んでいないが, 過渡解は	右辺第1項の定常解のほうは時間関数 t を含んでいないが, 第2項の過渡解は

23	108	図 4.24 (a)		
24	109	3行	SVPWM : Space Vector Pulse Modulation Method	SVPWM : Space Vector Pulse Width Modulation
25	113	9行	パルスの時系列のパルス幅	時系列パルスのパルス幅
26	116	下4行	図 4.28 (b)	図 4.20 (b)
27	118	図 4.35	周波数倍率 K_F の変化	周波数倍率 K_F の切換
28	127	図 4.44 (a)		
			(100 ステップごとの電流サンプリング値を誤って混入したため、これを削除した。サンプリング値のばらつきが減少した。)	
29	150	7行	α に対して	α に対応して
30	156	下2行	図 5.4	図 5.10
31	156	式(5.17)	$\sqrt{\frac{1}{T} \int_0^T e^2 dt} = \frac{E_m}{\sqrt{2}}$	$\sqrt{\frac{1}{T} \int_0^T e^2_{UV} dt} = \frac{E_m}{\sqrt{2}}$
32	157	式(5.18)	$\frac{1}{T} \int_0^{T/2} e dt = \frac{2}{\pi} E_m$	$\frac{1}{T} \int_0^{T/2} e_{UV} dt = \frac{2}{\pi} E_m$
33	158	8行	を引き起こすこともある。	を引き起こすこともある。これが EMC 問題の一事例である。
34	158	式(5.29)	$e_{UV} = e_{ab} e^{-j30^\circ}$	$\dot{E}_{UV} = \dot{E}_{ab} e^{-j30^\circ}$
35	175	8行	の目的で交流スイッチ	の目的に用いる交流スイッチ

36	177	7行	…可変速駆動に、また、	…可変速駆動に、一方、
37	181	下11行	高調波の流出	高調波電流の流出
38	183	2行	ランプ抵抗の非線形性	この例ではランプ抵抗の非線形性
39	185	下1行	オンオフ制御という、	オンオフ制御という。なお、経済的見地から、実用のTSCではサイリスタとダイオードとの並列スイッチを用いるのが一般的である。
40	206	下1行	また、過渡状態での回路動作も説明できるように過渡項 $pL_{22}i_0''$ も図示されている ($p = (d/dt)$)	回転子回路にある速度起電力 $j\omega_s L_{22}i_0''$ は電圧源負荷 (VRL) で示されている。
41	207	図 8.4		
42	207	図 8.4	…誘導機等価回路 (過渡項含む)	…誘導機等価回路 (二次変換回路)
43	207	式(8.7)	$\mathbf{i}_1'' = \mathbf{i}_0'' + \mathbf{i}_2''$	$\mathbf{i}_0'' = (M/L_{22}) \mathbf{i}_1'' + \mathbf{i}_2''$
44	207	式(8.8)	$(p + j\omega_s) L_{22} \mathbf{i}_0'' = R_2 \mathbf{i}_2''$	$0 = (p + j\omega_s) L_{22} \mathbf{i}_0'' = R_2 \mathbf{i}_2''$
45	207	式(8.9)	$\mathbf{T} = L_{22} \mathbf{i}_0'' \times \mathbf{i}_2''$	$\mathbf{T} = \mathbf{i}_2'' \times L_{22} \mathbf{i}_0'' $
46	208	下7行	i_{1d} と i_q	i_{1d} と i_{1q}
47	214	下2行	他励インバータ	他励コンバータ